

上級英語 A		講義	講師 鈴木 穰	
科目カテゴリー	経営・経済コースの 専門選択科目		科目ナンバリング	23200301

1. 授業のねらい・概要

必修英語・選択英語を学習後、総仕上げとして英語学習を追求したい学生のための講座。語学検定試験の合格、読解力や会話力の向上など受講生がそれぞれの目標を持ち、今の自分のレベルを上げていく事を望む。特に1年次・2年次アドバンスコースで学習した学生へ引き続きの履修を求める。

2. 授業の進め方

大学入学後2～3年経過し、英語に対する意識は高まり、能力は向上したはずである。「語学検定対策講座」では試験合格を強く意識させた。しかし、この講座では実用的な英語を習得し、英語の世界に楽しみを見出してほしい。教科書と視聴覚教材から興味深いテーマを扱い、総合的な能力の向上を目指す。

3. 授業計画

1. Making Waves with a Magical Instrument	9. Rising Profile
2. Backstage Tour with Augmented Reality Stars	10. All Blacks Cause City to Rethink Ink
3. Drinking to Eat	11. Man-made Threat to Japanese Deer
4. Next Generation Mobility	12. Home Appliance Maker Leads Comeback
5. Eco-friendly Fashion Statement	13. Hospitals Breaking Down Language barrier
6. Building a Bridge to Share a Son's dream	14. A New View of Hokusai
7. Taking Aim	15. Lighting Up the Nightlife
8. Boccia Boom Revitalizing Japanese Companies	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

前回の授業内容の復習や宿題を行い、内容の理解や語彙力の向上に努めること。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

小テストの解答は、授業中に解説する。最終試験実施の後、解答を提示版に掲示する。

6. 授業における学修の到達目標

受講生それぞれが目標を設定し、頻繁に達成度を確認することを意識する。

7. 成績評価の方法・基準

授業の参加度(30%)，小テスト(20%)，最終試験(50%)の結果によって判断する。

8. テキスト・参考文献

NHK NEWSLINE 4 (KINSEIDO)

9. 受講上の留意事項

現在の自分のレベルを上げるために努力すること。辞書を持参すること。

アドバンスコースを履修していなかった学生は、事前に担当講師へ申し出ること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。